



編集・発行 八女市役所 市長公室 TEL 0943(23)1110 FAX (22)2186
〒834-8585 福岡県八女市本町647番地 ■ 株式会社 東兄弟

八女市公式 HP <http://www.city.yame.fukuoka.jp> /E-mail mail@city.yame.fukuoka.jp

安部 龍太郎さん『等伯』

「直木賞」受賞 おめでとうございます



第148回(平成24年下半年)直木賞(日本文学振興会主催)が1月16日(水)発表され、八女市黒木町出身の作家・安部龍太郎さんの『等伯』(日本経済新聞出版社)が受賞しました。

『等伯』は、安土桃山時代から江戸時代初期にかけて活躍した絵師・長谷川信春(等伯)が主人公。代表作に国宝「松林図屏風」で知られる屏風絵があります。作品は、故郷・能登国七尾を後に転々とするも一心に画業に打ち込み、独自の作風を打ち立てるまでを描いています。選考委員からも「ベテランの腕で読みどころのある作品。綿密に調査し、フィクションとしてもうまく組み立てられ完成度が非常に高い」と高い評価を受けました。市立図書館でも安部先生の特設コーナーが設けられ、受賞作以外の作品も読むことができます。

作家 安部 龍太郎さん(八女市黒木町出身)

昭和30年生まれ。国立久留米工業高等専門学校機械工学科卒。東京都大田区役所入庁後に図書館司書を務める。その間に数々の新人賞に応募し、平成2(1990)年『血の日本史』で作家デビュー。平成6(1994)年『彷徨える帝』で第111回直木賞候補、平成17(2005)年『天馬、翔ける』で第11回中山義秀文学賞受賞。骨格の確かな作風と、日本史の根幹にかかわる大きなテーマに果敢に挑み、歴史小説の次代を担う作家として注目を集めている。



三田村市長から安部さんへ花束などが渡されました

「東京八女ふるさと会」でも祝福

東京都にあるホテルル・ポール麹町で1月19日(土)、「東京八女ふるさと会(大坪修会長)」が開催されました。同会は八女市出身の関東圏在住者で構成され、お互いの交流を図るとともに郷土八女の発展を目的に活動しています。当日は三田村市長も参加、約140人のにぎやかな会となり交流を深めました。

また、このほど直木賞を受賞した安部龍太郎さんがゲストとして駆けつけ、出席者全員でお祝いし今後の活躍をお祈りしました。同会では、今回の豪雨災害による被災者を応援するため募金を呼び掛け、大坪会長から三田村市長にお見舞金として渡されました。多大なるご支援ありがとうございました。